

⑤ 聖ザビエル天主堂



旧所在地	京都市中京区河原町三條		
構造、階数、用途	RC造及び木造、平屋建、教会		
建築年	1890	移築年	1973
最高高さ(m)	18.10	標高(m)	102.30
建築面積(m ²)	575.21	延床面積(m ²)	575.21

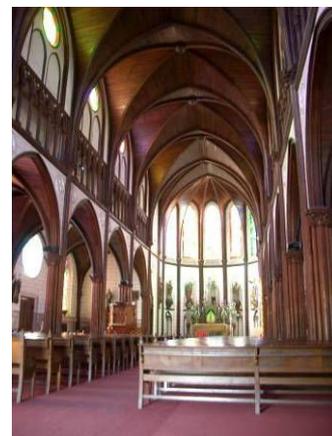
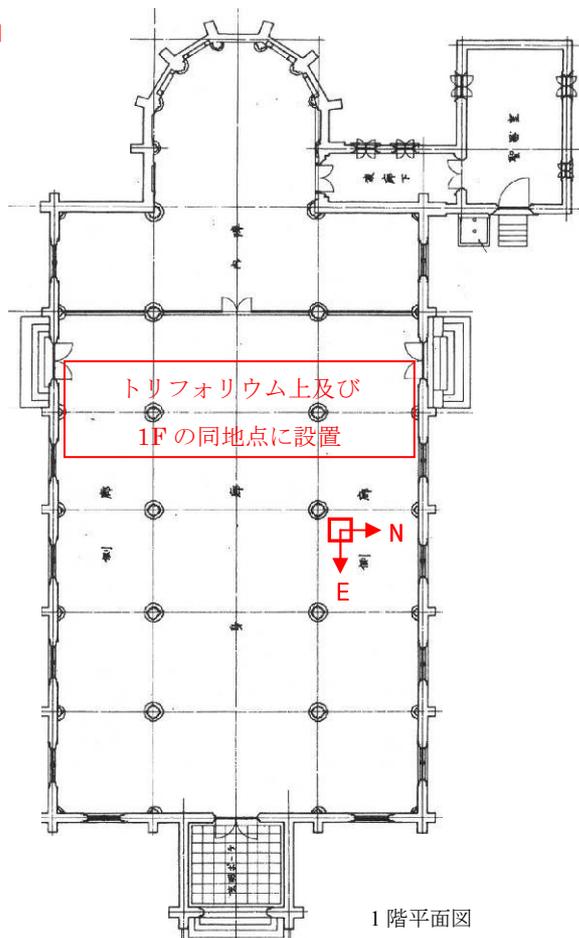
- 基本構造はレンガ造(現在はRC造)と木造の併用で、身廊、側廊からなる三廊式の典型的なゴシック様式である。また、一部は杭基礎となっている。
- トリフォリウムの上にセンサーを設置した。
- 長辺、短辺ともに複数の卓越振動数が見られるのは、教会建築という複雑な構造形式が影響していると思われる。

○センサー設置状況

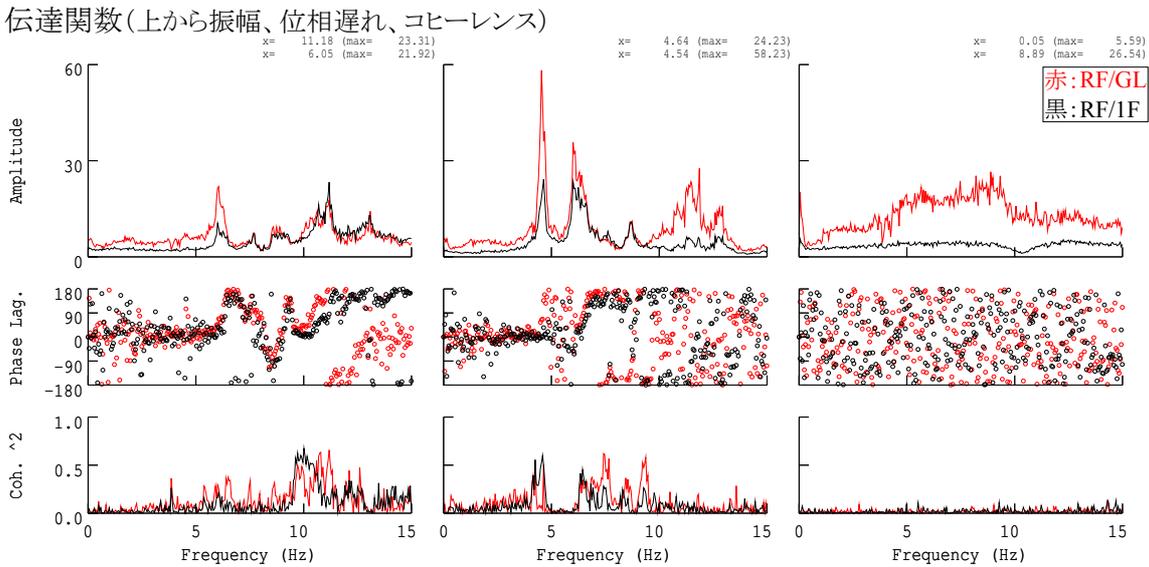
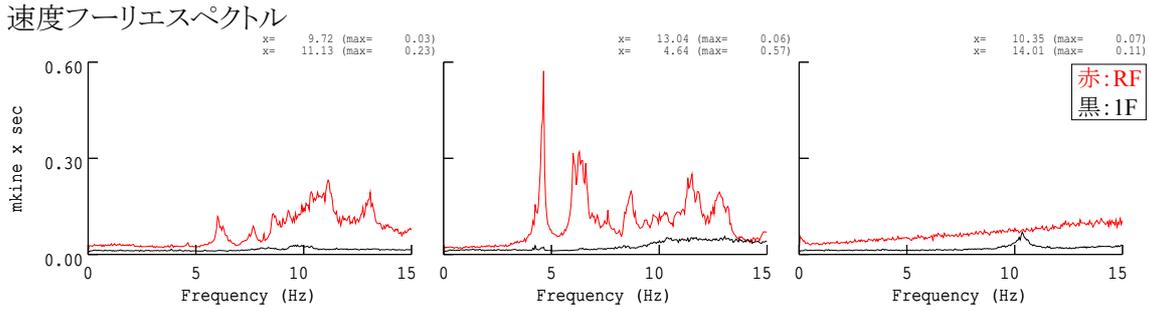
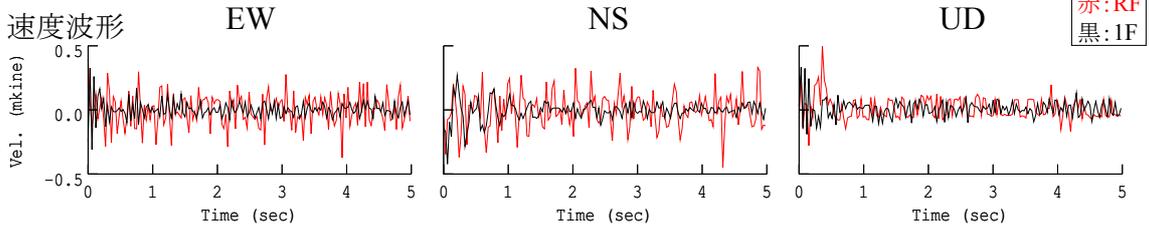
地盤



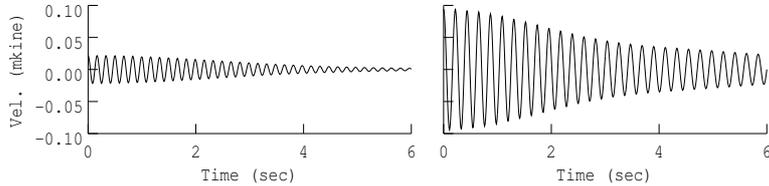
短辺
↓
長辺



⑤ 聖ザビエル天主堂



RD 法による自由振動波形



推定固有振動数

EW 6.04Hz

NS 4.63Hz

推定減衰定数

EW 1.18%

NS 0.80%

[RD 法(対数減衰率)]

H/V スペクトル

